

**鳥取県新型コロナウイルス感染症対策本部（第27回）  
第42回鳥取市新型コロナウイルス感染症対策本部会議  
第18回北栄町新型コロナウイルス感染症対策本部会議  
合同会議**

**日時：**令和2年8月1日（土）午後1時～

**場所：**鳥取県庁災害対策本部室（第2庁舎3階）

**出席：**知事、副知事、統轄監

令和新時代創造本部、危機管理局、総務部、福祉保健部、教育長  
東部地域振興事務所、中部総合事務所、西部総合事務所、日野振興センター  
鳥取市長、鳥取市保健所

※鳥取市テレビ会議参加者

副市長、総務部長、危機管理部長、税務・債権管理局長  
人権政策局長、企画推進部長、企画推進部経営統轄監  
市民生活部長、環境局長、福祉部長、健康こども部長  
経済観光部長、農林水産部長、都市整備部長  
下水道部長、教育長、病院事業管理者、水道事業管理者  
市議会事務局長、鳥取市各総合支所長、消防局長

※北栄町テレビ会議参加者

町長、副町長、教育長、総務課長、企画財政課長、町民課長  
環境エネルギー課長、福祉課長、健康推進課長、地域整備課長  
産業振興課長、観光交流課長、教育総務課長、生涯学習課長  
議会事務局長、出納室長、農業委員会事務局長

**議題：**◇新型コロナウイルス感染症陽性者の発生について  
◇その他

# 県内における新型コロナウイルス感染症無症状病原体保有者の 確定について(12例目・第1報)

## 12例目

### 1 概要

性別：男性  
年代：50代  
居住地：北栄町  
職業：農業

### 2 現在の症状：無症状

### 3 経過

7/24(金)	本人及び10例目・11例目陽性者、その他友人1名と鳥取市内のアルコールを提供する飲食店2店舗で会食
7/25(土)～30(木)	農作業(7/28(火)、7/29(水)は休み)
7/28(火)	倉吉市内で農業系会議に出席
7/29(水)	夜、鳥取市内飲食店で会食
7/30(木)	夜、友人と2人で倉吉市内の複数店で会食
7/31(金)	10例目と11例目の陽性者の接触者としてPCR検査を実施 →陽性判明

4 国外、県外への移動歴：検査日から14日前まで確認されていない

5 現在の患者の状況：感染症指定医療機関に入院

6 濃厚接触者等の調査状況：濃厚接触者10人(7/31:9人検査陰性確認、8/1:1人検査予定)  
接触者28人(7/31:5人検査陰性確認、8/1 10:00時点:23人検査予定)

# 県内における新型コロナウイルス感染症患者確定について(13例目・第1報)

## 13例目

### 1 概要

性別：男性  
年代：40代  
居住地：鳥取市  
職業：新日本海新聞社社員

### 2 現在の症状：倦怠感、発熱

### 3 経過

7/25 (土) 仕事休み  
7/26 (日) 仕事 取材  
7/27 (月) 仕事 内勤 11例目陽性者と接触  
7/28 (火) 仕事休み  
7/29 (水) 仕事 取材  
7/30 (木) 仕事 取材 倦怠感あり  
7/31 (金) 朝から発熱 (38.0℃) 仕事を休み自宅待機  
11例目の陽性者の接触者としてPCR検査を実施  
→陽性判明

### 4 検査日から14日前までの国外・県外移動歴：取材先(県外)

### 5 現在の患者の状況：入院協力医療機関に入院

### 6 濃厚接触者の調査状況：家族1名→7/31に実施したPCR検査で陰性判明

# 県内における新型コロナウイルス感染症患者の確定について(14例目・第1報)

## 14例目

### 1 概要

性別：女性

年代：30代

居住地：新温泉町

職業：新日本海新聞社社員

### 2 現在の症状：咽頭痛

### 3 経過

7/25（土）～26（日） 実家滞在（鳥取市内）

7/27（月）～7/30（木）仕事 取材

7/28（火） 11例目陽性者と接触

7/31（金） 仕事休み

11例目の陽性者の接触者としてPCR検査を実施

→陽性判明

### 4 検査日から14日前までの国外・県外移動歴：取材先（県外）

### 5 現在の患者の状況：入院協力医療機関に入院

### 6 濃厚接触者の調査状況：現在のところ特定した者なし

# 県内における新型コロナウイルス感染症患者確定について(15例目・第1報)

## 15例目

### 1 概要

性別：女性  
年代：10代  
居住地：鳥取市  
属性：学生

### 2 現在の症状：咽頭痛

### 3 経過

7/25（土） 家族・知人と県西部へ車で出かける  
夜、家族で市内飲食店で会食  
7/26（日） 自宅で過ごす  
7/27（月）～7/30（木） 登校  
7/29（水） 夜、咽頭痛あり  
7/30（木） 口内炎、咽頭痛  
7/31（金） 学校を休み市内医療機関を受診  
東部発熱・帰国者・接触者相談センターへ相談。  
帰国者・接触者外来で検体採取。  
→陽性判明

### 4 発症日から14日前までの国外・県外移動歴：なし

### 5 現在の患者の状況：感染症指定医療機関に入院

### 6 濃厚接触者の調査状況：家族→7/31に実施したPCR検査で陰性判明

# 対応方針

## 1. 患者対応

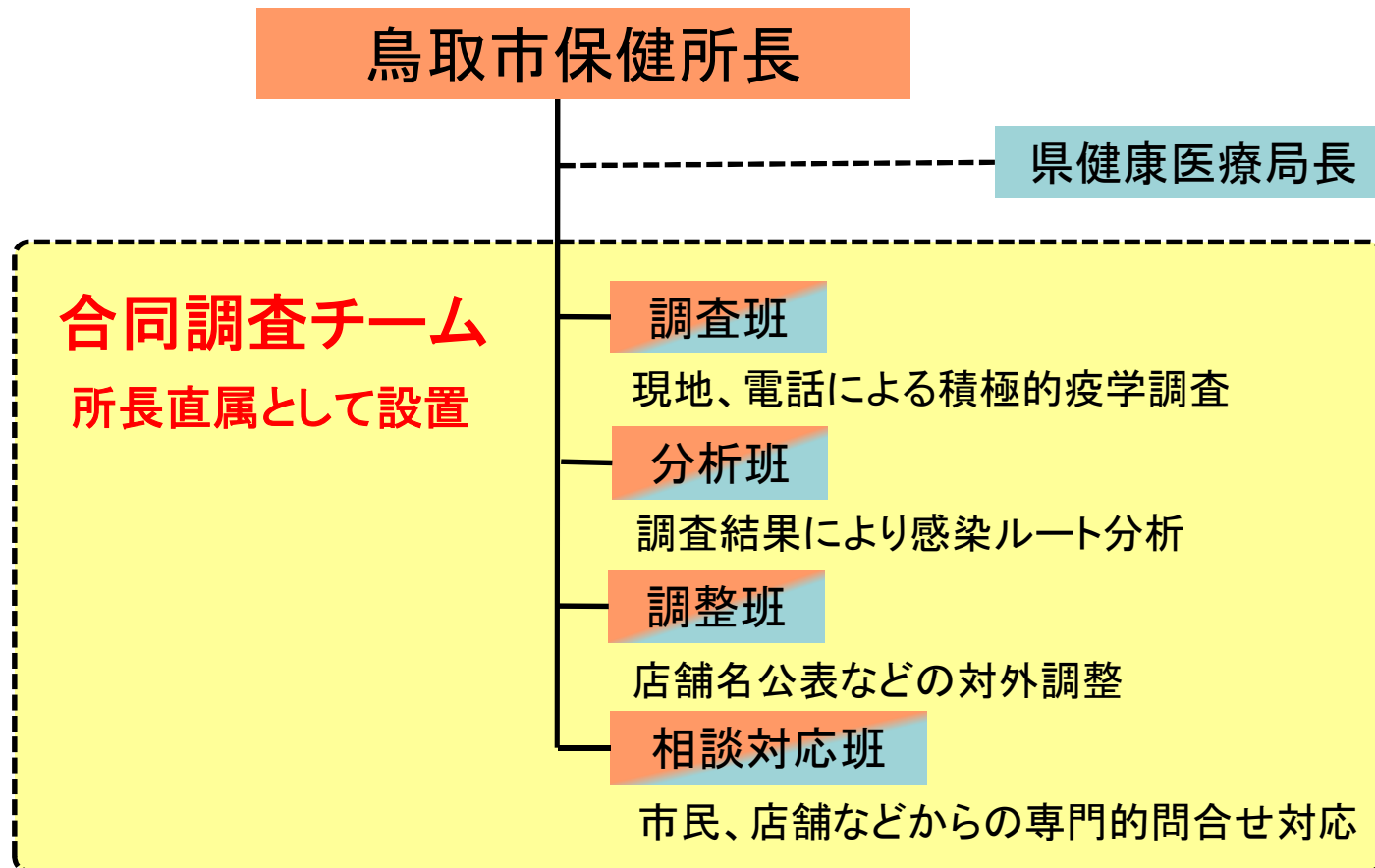
入院協力医療機関に入院

## 2. 濃厚接触者等への対応

- 積極的疫学調査を実施し、濃厚接触者を特定
  - 最終接触日より2週間の健康観察
  - 外出自粛要請
- 家族等の濃厚接触者や検査を希望する方等に対し、PCR検査を実施
- 感染源特定のため、発症前2週間の行動歴を調査し、関係する都道府県に情報提供を行う。

# 鳥取市と鳥取県の合同調査チームを設置

鳥取市保健所管内での感染事例多数発生を受け、市と県で協力して調査などを実施



- 県からの参加規模 20～30人を想定
- 必要に応じて専門家チームが助言指導

# 鳥取市市街地警戒宣言

⚠️ ご自身と大切な人と地域を守ろう！

⚠️ 会食・三密に注意しよう！

鳥取県知事 平井 伸治  
鳥取市長 深澤 義彦



# 鳥取市コロナシグナルについて

市内で新規陽性患者の発生に伴い鳥取市コロナシグナル

**オン**の期間を8月14日までに変更。

## 鳥取市コロナシグナル

☆新規陽性患者の発生に合わせた市の対応を共有し、新型コロナウイルス感染症の効果的な感染防止、感染拡大防止対策に努める。

シグナル		オフ	オン
新規陽性患者		なし	あり
活動制限	イベント・会議等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手指消毒やマスク着用、発熱等の症状がある者は外出等を避けるなど、「新しい生活様式」に基づく基本的な感染防止策を徹底すること。</li> <li>・イベント等の主催者や出演者は「業種別ガイドライン」等に基づく行動、参加者の連絡先把握、接触確認アプリの周知、イベント・会議等前後の感染対策（行動管理含む）の呼びかけを行うこと。</li> <li>・イベント等の主催者は、特に、全国的な移動を伴うものには格段の注意をはらうこと。</li> <li>・イベント等の参加者には、自身が感染対策を徹底していても、感染リスクはあることを周知すること。</li> <li>また、発熱等の症状がある者はイベント等に参加しない措置を講じること。</li> </ul>	<p>感染が確認された次の日から起算して14日を経過しない間に開催するイベント等は、原則中止又は延期とする。</p> <p>ただし、国・県のガイドラインの実践等により、感染予防が図られる場合はこの限りではない。</p>
	市有施設	<p>感染発生を予防する事項の呼びかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗い励行、マスク着用</li> <li>・換気の徹底</li> </ul>	<p>感染者が発症2日前以降に使用した施設は施設内の消毒が完了するまで休館とする。再開に当たっては接触者（施設職員等）の陰性確認など感染のおそれのない運営環境を要件とする。</p> <p>その他の施設については、イベント・会議等の開催に関する基本的な考え方を踏まえ施設の開館継続・休館の判断を行う。ただし、福祉施設等臨時休業とする事で市民生活に重大な影響を及ぼす施設及び屋外スポーツ施設、公園、利用者が地域住民に限られ、かつ利用者が特定される施設はこの限りではない。</p>

※陽性患者の確認状況、行動歴などにより対応を変更する場合がある。

※新規陽性患者確認された次の日から14日間新たに陽性患者が確認されない場合オフにする。

# 鳥取県版新型コロナ警報

地域	発令区分	発令期間
全県【重点地域：東部】	警報	8月14日まで

※発令期間は状況に応じ延長

## <県東部地区 特に鳥取市の皆様へのお願い>

### ご自身と大切な人と地域を守ろう！ 会食・三密に注意しよう！

- 特に鳥取市市街地で感染が急速に拡大しています。また、親しい人同士のお酒を伴う会食等による感染也多発しています。自分を守り、大切な人を守り、地域と社会を守るために、慎重な行動をお願いします。
- 親しい間柄であっても、マスクを外す時間を狙って、十分な距離を取っていない飲食店やご友人宅での飲食、カラオケなどで、感染が広がっていきます。
- 「三つの密(密閉、密集、密接)」を避ける、人と人との感染防止距離(概ね2m)を取る、距離が取れない場合のマスク着用、こまめな手洗いやうがいなど、感染予防に最大限の注意を払っていただきますよう強くお願いします。
- 三密になりやすい大人数の集まりについては、今一度中止や延期についても検討していただきますようお願いいたします。
- お店を利用する際は、「新型コロナウイルス感染予防対策協賛店」のステッカーも参考にしてください。また、事業者の皆様は、業種別ガイドラインの遵守を徹底した上で、大切なお客様とお店・従業員を守るため、感染予防対策を十分に行ってください。
- 少しでも体調が悪ければ通勤・通学を含め外出は控え、まず「発熱・帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。
- お盆や夏休みシーズンに県外から帰省をお考えの方を含め、感染が拡大している地域の皆様には、高齢者や基礎疾患をお持ちのご家族などへの感染の可能性について慎重に考慮していただき、例えば地域の同窓会に各地から集まることを控えていただくほか、マスクなど感染予防を徹底され、往来すること自体についても必要性を今一度ご判断ください。
- 感染拡大地域にお出かけの県民の皆様は、不要不急の往来はできれば避けていただくほか、県ホームページで毎日更新している情報を参考にいただき、「三つの密」を避け、マスク着用、こまめな手洗いやうがいなど、感染予防を徹底して警戒していただきますようお願いいたします。
- ご自身の予防と感染拡大防止のため、接触確認アプリ「COCOA」をスマートフォンにインストールしましょう。

## ＜全県の皆様へのお願い＞

- 「三つの密」を避ける、人と人との感染防止距離を取る、マスク着用、こまめな手洗い・換気などの感染予防に、これまで以上に十分注意を払っていただくよう強くお願いします。
- 全国的に若年層を通じての感染が多数確認されていますので、特に行動に留意してください。

## ＜感染防止対策の徹底、検査・医療体制の強化＞

- 県有施設について感染防御の取組を徹底
- 今後クラスターが発生した場合、当該箇所の活動制限等について検討
- 学校関係については、周辺の感染状況によって休業などを判断
- 保健所機能の強化を継続(積極的疫学調査、発熱・帰国者・接触者相談センター窓口)
- 医療・福祉施設の感染防止対策の徹底、患者用の病床確保、必要物資の供給

## イベント・県立集客施設の対応について

○東部地域の県立集客施設において、受付での体温チェックのほか、手指の消毒、入館者のマスク着用の感染防止対策を再度徹底する。

○東部地域のイベントで、飲食を伴ったり三密になり易いものなど、感染防止対策上支障があるものがないか点検し、必要に応じて延期・中止等を検討する。

## 県民の皆様へ

- ◆今後、患者の行動歴をもとに接触者の確認を行います。
- ◆県民の皆様にあっては、県のウェブページなどから正確な情報を確認し、不確かな情報に惑わされることなく、冷静な行動をとっていただくようお願いします。
- ◆風邪症状や発熱、味覚・嗅覚に違和感が出たら、外出は控え、まず、「発熱・帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。  
電話：0857-22-5625(鳥取市保健所)  
0858-23-3135・0858-23-3136(倉吉保健所)  
0859-31-0029(米子保健所)
- ◆医療機関を受診したいと思ったとき、事前に電話して指示に従うようにしましょう。
- ◆患者、新型コロナウイルス感染症で治療に当たる医療従事者やその家族などに対し、誤解や偏見に基づく差別を行うことは決して許されません。公的機関の提供する正確な情報を入手し、冷静な行動に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症に立ち向かっている患者、医療従事者の皆さまをみんなで応援しましょう。
- ◆県では、全庁をあげて感染拡大の防止策を強化するとともに、県民生活・県民経済の安定を確保するための取組を進めていきます。

## 県内にいらっしゃった皆様へ

- ◆新型コロナウイルスは、季節性インフルエンザと比べて死亡リスクが高く、特に、高齢者や基礎疾患のある方では重症化するリスクが高いことも報告されています。
- ◆高齢人口が3割近くに進み、医師や看護師、医療機関などの医療資源も限られている鳥取県では、感染が拡大すればその影響は大きいものとなります。
- ◆自らを感染から守るだけでなく、自らが周囲に感染を拡大させないことが不可欠です。少しでも体調が悪ければ出歩かないことを心がけ、「三つの密(密閉、密集、密接)」を避ける、人と人との感染防止距離(概ね2m)を取る、距離が取れない場合のマスクの着用や手洗いなど、感染予防に万全の注意を払っていただきますよう強くお願いします。
- ◆厚生労働省の、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」は、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができる、スマートフォンのアプリです。積極的な利用の登録・活用をお願いします。

## 県外にお出かけされる皆様へ

◆7月31日、全国の新規感染者は1,579人が確認され、4日連続で過去最多を更新しました。東京都や愛知県など大都市部を中心に各地で最多を更新し、前日の1,305人を大幅に上回りました。

全国では大都市を中心に市中感染が広がっており、接待を伴う飲食店など特定のお店にとどまらず、どういう場所で感染しても不思議ではなくなっています。

例えば、お知り合い等との会食であっても飛沫感染した例も多発しており、特定の地域へ行かなければよい、ということでは十分な対策とは言えないことにご留意ください。

◆鳥取県では、県外との往来に注意すべき地域として「感染警戒地域」、「重要感染警戒地域」としてお知らせしていますが、さらに注意すべき地域として「特別感染警戒地域」を設定し、県民の皆様にお知らせすることとしています。

【特別感染警戒地域】(18都府県)

埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、岐阜県、静岡県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、広島県、福岡県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

【重要感染警戒地域】(11県)

茨城県、栃木県、石川県、福井県、山梨県、三重県、滋賀県、岡山県、徳島県、佐賀県、長崎県

【感染警戒地域】(13道県)

北海道、宮城県、秋田県、群馬県、新潟県、富山県、長野県、島根県、山口県、香川県、愛媛県、高知県、大分県  
(R2.7.31現在)

◆感染が拡大している地域に行かれる場合は、「三つの密(密閉、密集、密接)」を避ける、人と人との感染防止距離(概ね2m)を取る、距離が取れない場合のマスクの着用や手洗いなど、感染予防に万全の注意を払っていただきますよう強くお願いします。

◆厚生労働省の、新型コロナウイルス接触確認アプリ「COCOA」は、新型コロナウイルス感染症の感染者と接触した可能性について、通知を受け取ることができる、スマートフォンのアプリです。利用者は、陽性者と接触した可能性が分かることで、検査の受診など保健所のサポートを早く受けることができます。積極的な利用の登録・活用をお願いします。

## 東京都にお出かけの場合

◆7月31日は7月30日の367人を96人上回り、過去最多の463人の感染者が確認されました。7月28日には新たに品川区にある「ゼームス坂通り」付近の飲食店街でクラスター(感染者集団)が発生するなど、都内の新規感染者数は7月には急速に感染者が増加し、緊急事態宣言時を超えてきています。

もはや当初言われていた若い世代のみならず幅広い全年代に広がり、最多の新宿区はもちろんのこと、23区全体が顕著に陽性判明が増加しているほか、多摩地域にも感染が広がっています。

感染の場所も、従来から指摘されてきた新宿等の接待を伴う飲食店にとどまらず、既に市中感染が広がっている状況となってきました。どういう場所で発生しても不思議ではなくなっています。店を利用する人は、東京都の「感染防止徹底宣言ステッカー」のない店の利用は控えるなど、十分に注意しながら、行動してください。

◆現状では、特別の注意を払わなければならない段階に入っていると考えられ、東京都へお出かけの際には最大限警戒して、自分の健康状態はもとより利用する施設の感染防止対策を確認し、その必要性を判断し、「三つの密(密閉、密集、密接)」を避ける、人と人との感染防止距離(概ね2m)を取る、距離が取れない場合のマスクの着用や手洗いなど、他の地域へ行く時よりもさらに感染予防に万全の注意を払っていただきますよう強くお願いします。

例えば、お知り合い等との会食であっても飛沫感染した例も多発しており、特定の地域へ行かなければよい、ということでは十分な対策とは言えないことにご留意ください。

なお、小池都知事から都民には外出自粛が呼びかけられています。

※注意事項については、随時HPでお知らせします。



## 岐阜県にお出かけの場合

◆7月28日に、過去最多の20人の感染が確認されました。

大学の部活動の練習や寮生活、スポーツジムなどでクラスター(感染者集団)が発生しています。

◆現状では、特別の注意を払わなければならない段階に入っていると考えられ、岐阜県へお出かけの際には最大限警戒して、自分の健康状態はもとより利用する施設の感染防止対策を確認し、その必要性を判断し、「三つの密(密閉、密集、密接)」を避ける、人と人との感染防止距離(概ね2m)を取る、距離が取れない場合のマスクの着用や手洗いなど、他の地域へ行く時よりもさらに感染予防に万全の注意を払っていただきますよう強くお願いします。

例えば、お知り合い等との会食であっても飛沫感染した例も多発しており、特定の地域へ行かなければよい、ということでは十分な対策とは言えないことにご留意ください。

※注意事項については、随時HPでお知らせします。

## 愛知県にお出かけの場合

- ◆愛知県内では、7月31日に過去最多の193人の感染が確認され、4日連続で100人を超えました。7月以降の感染者は20～30代で約6割を占めますが、40代も増え、かつ、ほぼ県内全域で感染が拡大しています。
- ◆感染の場所も、従来から指摘されてきた接待を伴う飲食店にとどまらず、既に市中感染が広がっている状況となってきました。どういう場所で発生しても不思議ではなくなっています。名古屋市中区錦に加え、栄、大須、新栄の3地区のカラオケバーや会員制クラブ等でクラスター(感染者集団)が発生しました。このような飲食店への外出を控えてください。
- ◆現状では、特別の注意を払わなければならない段階に入っていると考えられますので、愛知県へお出かけの際には最大限警戒して、自分の健康状態はもとより利用する施設の感染防止対策を確認し、その必要性を判断し、「三つの密(密閉、密集、密接)」を避ける、人と人との感染防止距離(概ね2m)を取る、距離が取れない場合のマスクの着用や手洗いなど、他の地域へ行く時よりもさらに感染予防に万全の注意を払っていただきますよう強くお願いします。  
例えば、お知り合い等との会食であっても飛沫感染した例も多発しており、特定の地域へ行かなければよい、ということでは十分な対策とは言えないことにご留意ください。

※注意事項については、随時HPでお知らせします。

## 京都府にお出かけの場合

- ◆7月29日に過去最多となる41人の感染が確認されました。  
30歳代以下の若い方が80%を占め、また、6月30日に京都市内のキャバクラなど接待を伴う飲食店で発生したクラスター(感染者集団)をはじめ、7月12日にも知人同士の会食によるクラスターも発生するなど、6月下旬以降のクラスター4件中3件は飲食を伴う会合が契機になっています。  
友人との飲み会などの飲酒機会において、大声で会話をしないこと、回し飲みをしないなど、感染に注意しながら、行動してください。
- ◆現状では、特別の注意を払わなければならない段階に入っていると考えられ、京都府へお出かけの際には最大限警戒して自分の健康状態はもとより利用する施設の感染防止対策を確認し、その必要性を判断し、「三つの密(密閉、密集、密接)」を避ける、人と人との感染防止距離(概ね2m)を取る、距離が取れない場合のマスクの着用や手洗いなど、感染予防に注意を払ってください。
- ◆現状では、特別の注意を払わなければならない段階に入っていると考えられ、京都府へお出かけの際には最大限警戒して自分の健康状態はもとより利用する施設の感染防止対策を確認し、その必要性を判断し、「三つの密(密閉、密集、密接)」を避ける、人と人との感染防止距離(概ね2m)を取る、距離が取れない場合のマスクの着用や手洗いなど、感染予防に注意を払ってください。  
例えば、お知り合い等との会食であっても飛沫感染した例も多発しており、特定の地域へ行かなければよい、ということでは十分な対策とは言えないことにご留意ください。  
例えば、お知り合い等との会食であっても飛沫感染した例も多発しており、特定の地域へ行かなければよい、ということでは十分な対策とは言えないことにご留意ください。

※注意事項については、随時HPでお知らせします。

## 大阪府にお出かけの場合

- ◆7月22日に初めて100人を超え、7月31日は216人で、7月29日に過去最多の221人と初の200人台の感染が確認されたのに次いで2番目の多さです  
新規感染者のうち18歳～30代の割合は、「第一波」の感染拡大では約4割でしたが、6月中旬以降は約8割を占めています。また、感染経路不明者の約4割が、バーやキャバクラ、ホストクラブなど、いわゆる「夜の街」の関係者や滞在者であることが判明しています。夜の繁華街を訪れるなどした30代以下の若い世代で感染が拡大し、そこから40代以上の中高年層で広がっています。若者を中心に、「夜の街」の滞在歴がある人の間で感染が拡大している状況です。  
飲食店での友人らとの飲み会、会食を通しての感染も増えてきており、感染の場所も、従来から指摘されてきた接待を伴う飲食店にとどまらず、既に市中感染が広がっている状況となってきました。どういう場所で発生しても不思議ではなくなっています。店を利用する人は、大阪府の「感染防止宣言ステッカー」のない店の利用は控えるなど、十分に注意しながら、行動してください。
- ◆現状では、特別の注意を払わなければならない段階に入っていると考えられ、大阪府へお出かけの際には最大限警戒して自分の健康状態はもとより利用する施設の感染防止対策を確認し、その必要性を判断し、「三つの密(密閉、密集、密接)」を避ける、人と人との感染防止距離(概ね2m)を取る、距離が取れない場合のマスクの着用や手洗いなど、感染予防に注意を払ってください。  
例えば、お知り合い等との会食であっても飛沫感染した例も多発しており、特定の地域へ行かなければよい、ということでは十分な対策とは言えないことにご留意ください。

※注意事項については、随時HPでお知らせします。

## 福岡県にお出かけの場合

◆7月31日、170人の感染が確認され、過去最多を3日連続で更新し、100人を超えるのも3日連続となっています。

福岡市中洲のキャバクラのほか、中央区のダンスクラブでクラスター(感染者集団)が発生しました。このような飲食店への外出を控えてください。

福岡市内では20代から30代の若者の感染が多い傾向にあるほか、北九州市や久留米市でも感染確認されています。感染の場所も、従来から指摘されてきた接待を伴う飲食店にとどまらず、既に市中感染が広がっている状況となってきました。どういう場所で発生しても不思議ではなくなっています。

◆現状では、特別の注意を払わなければならない段階に入っていると考えられ、福岡県へお出かけの際には最大限警戒して、自分の健康状態はもとより利用する施設の感染防止対策を確認し、その必要性を判断し、「三つの密(密閉、密集、密接)」を避ける、人と人との感染防止距離(概ね2m)を取る、距離が取れない場合のマスクの着用や手洗いなど、感染予防に注意を払っていただきますようお願いします。

例えば、お知り合い等との会食であっても飛沫感染した例も多発しており、特定の地域へ行かなければよい、ということでは十分な対策とは言えないことにご留意ください。

※注意事項については、随時HPでお知らせします。

## 熊本県にお出かけの場合

- ◆7月26日に新規感染者が初めて2桁に達し、7月27日には最大となる33人の感染が確認されており、感染者が急増しています。  
造船所や介護老人保健施設などでクラスターも発生しています。
- ◆現状では、特別の注意を払わなければならない段階に入っていると考えられ、熊本県へお出かけの際には最大限警戒して、自分の健康状態はもとより利用する施設の感染防止対策を確認し、その必要性を判断し、「三つの密(密閉、密集、密接)」を避ける、人と人との感染防止距離(概ね2m)を取る、距離が取れない場合のマスクの着用や手洗いなど、感染予防に注意を払っていただきますようお願いします。  
例えば、お知り合い等との会食であっても飛沫感染した例も多発しており、特定の地域へ行かなければよい、ということでは十分な対策とは言えないことにご留意ください。  
また、熊本県は、感染防止対策のできていない「特定の飲食店」(「バーやクラブ等の接待を伴う飲食店」及び「その他の酒類の提供を行う飲食店」)の利用を自粛することも呼びかけていますので、このような飲食店への外出を控えてください。

※注意事項については、随時HPでお知らせします。

## 宮崎県にお出かけの場合

◆ 7月25日に過去最多となる26人の感染が確認されるなど、7月下旬になって、急激に感染者数が増加しています。特に30代と40代の感染が多く、全体の54%をしめています。

高鍋町のスナックで県内初のクラスター(感染者集団)が発生しました。このお店の利用者から高鍋町を中心とする西都・児湯地域と宮崎市で感染が面的にも広がりをみせています。このような飲食店への外出を控えてください。

◆ 現状では、特別の注意を払わなければならない段階に入っていると考えられ、宮崎県へお出かけの際には最大限警戒して、自分の健康状態はもとより利用する施設の感染防止対策を確認し、その必要性を判断し、「三つの密(密閉、密集、密接)」を避ける、人と人との感染防止距離(概ね2m)を取る、距離が取れない場合のマスクの着用や手洗いなど、感染予防に注意を払っていただきますようお願いいたします。

例えば、お知り合い等との会食であっても飛沫感染した例も多発しており、特定の地域へ行かなければよい、ということでは十分な対策とは言えないことにご留意ください。

※注意事項については、随時HPでお知らせします。

## 沖縄県にお出かけの場合

◆7月31日に過去最多となる71人の感染が確認されました。ここ1週間で223名の感染が確認され急激に感染者が拡大しています。

那覇市の繁華街・松山の接待を伴う飲食店などでクラスター(感染者集団)が発生した可能性があります。このような飲食店への外出を控えてください。

◆現状では、特別の注意を払わなければならない段階に入っていると考えられ、沖縄県へお出かけの際には最大限警戒して、自分の健康状態はもとより利用する施設の感染防止対策を確認し、その必要性を判断し、「三つの密(密閉、密集、密接)」を避ける、人と人との感染防止距離(概ね2m)を取る、距離が取れない場合のマスクの着用や手洗いなど、感染予防に注意を払っていただきますようお願いいたします。

例えば、お知り合い等との会食であっても飛沫感染した例も多発しており、特定の地域へ行かなければよい、ということでは十分な対策とは言えないことにご留意ください。

沖縄県の玉城デニー知事は8月1日から15日の間、沖縄本島全域で不要不急な外出を自粛するよう要請するとともに、県外からの来県は慎重に判断することを求めています。また、本島から離島への移動も最小限にするよう求めています。

※注意事項については、随時HPでお知らせします。



# 県庁の対応

## ○鳥取市と鳥取県の合同調査チームとは別に、 保健所支援に向け総勢40名の応援態勢を構築

### ■鳥取市保健所への応援

疫学調査への応援のほか、検体搬送、ドライブスルー検体採取、その他の応援を行うための態勢を構築

### ■倉吉保健所への応援

倉吉保健所については、中部総合事務所においてしっかりとした体制を構築しているところ。それに加え、更に県庁からの応援職員を派遣

- ・県庁から職員を派遣。  
(検体搬送、相談窓口等)
- ・上記の業務のほか、予備的要員として必要な人員を準備

# 県庁の対応

## ○庁舎内及び職員の感染予防対策の徹底

### ・出勤者の削減

執務室の職員密度を下げるため出勤者を3割削減する。

（重点地域である東部地区についてはさらにそれ以上の出勤者を削減）

### ・庁舎内に入室する場合の取扱

外来者も含め、庁舎内に入室する場合は、手指消毒を徹底する。

### ・職員の出張

特別感染警戒地域へのお出張については、その必要性を十分に検討の上、万全の感染予防対策を講じる。

### ・職員の感染予防対策の徹底

業務中だけでなく、私的な場面においても、感染予防対策（「三つの密」の回避、マスク着用など）・健康管理（出勤前の検温など）を改めて徹底する。

### ・職員が会食する際の注意

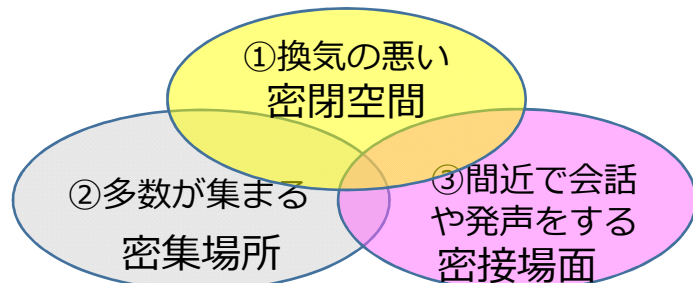
多人数での会食は避ける。少人数であっても会食する場合は、感染予防対策（食事中以外のマスク着用、適切な距離の確保、お酌はしない、カラオケなどでの大声を避けるなど）を改めて徹底する。

# マスクのつけ方・はずし方

～コロナ予防と熱中症予防のポイント～

## つける時

- 症状がなくても、**対面での会話や屋内の人が集まる**ところでは、マスク着用



※マスクがないときは、ハンカチや袖などで口と鼻を覆うなど、咳エチケットを



- 負荷のかかる作業や運動を避け、周囲の人との距離を十分にとった上で、**適宜マスクをはずして休憩を**



高齢者は渴きを自覚しづらいので要注意！

## はずす時

- 屋外で人と十分な距離（2m以上）を確保できる場合は、マスクをはずす

(例)

- ・田畑での農作業
- ・散歩やウォーキング、自転車
- ・グラウンド・ゴルフなどの屋外スポーツ
- ・集落などでの奉仕作業



2歳未満の子どもにマスクは危険！

